

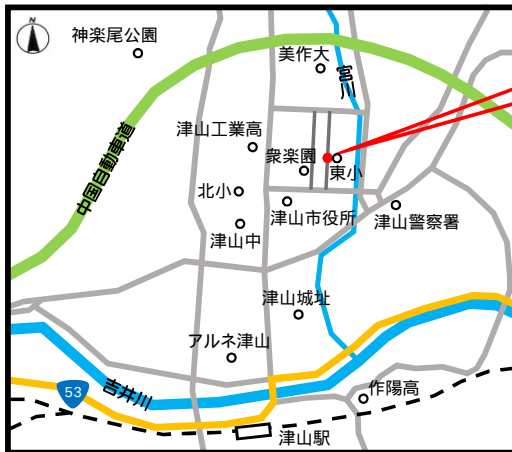
スムーズ横断歩道(可搬式ハンプ)設置による社会実験について(1/2)

【目的】

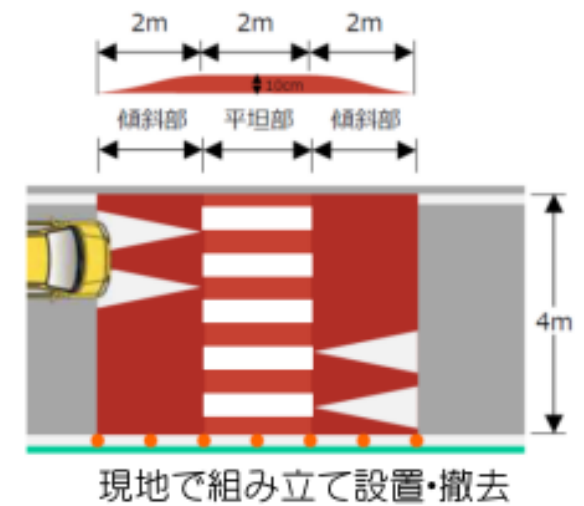
国交省・県警・道路管理者と連携し、交通安全に係る新たな取り組みとして、低速度規制区域(ゾーン30)の面的対策と物理的デバイスを組み合わせ、スムーズ横断歩道(可搬式ハンプ)を試験的に仮設置し、通過車両の速度抑制状況や横断歩道における歩行者優先の遵守率を測定し、面的速度規制と物理的デバイスの組み合わせの有効性について効果検証を行うもの。

【施工場所】

津山市立東小学校前



スムーズ横断歩道設置イメージ



【試験施工日】

令和3年9月6日(月) ~ 9月30日(木) 【可搬式ハンプ設置後 ~ 終日試験】

【見込まれる効果】

- ・ 路面を10cm隆起(ハンプ)させることで、車両速度が低減される
- ・ 横断者の位置が高くなり視認性が向上する
- ・ 横断歩道との段差がなくなることで、スムーズな横断が可能となる

スムーズ横断歩道(可搬式ハンプ)設置による社会実験について(2/2)

【実施状況】



【登校時】



【下校時】